



平成 29 年 1 月 6 日  
公立大学法人横浜市立大学  
株式会社横浜インポートマート

## 横浜市立大学×横浜ワールドポーターズ連携プロジェクト 3年間の集大成！ 1,200 枚以上の顔写真でつくるモザイクアートを展示

横浜市立大学（以下、「YCU」）の中條祐介（国際総合科学群教授・国際会計論）ゼミの学生と横浜ワールドポーターズ（株式会社横浜インポートマート）は、連携プロジェクトの集大成として制作したモザイクアートを平成 29 年 1 月 8 日（日）から約 1 ヶ月間展示します。

本プロジェクトは、横浜ワールドポーターズおよびみなとみらい 21 新港地区全体の活性化を目的に、学生目線のアイデアを取り入れた産学連携の地域貢献事業として、平成 25 年 12 月にスタートしました。

3 年間の集大成となる今年度は、Facebook を活用した情報発信や新港地区の紹介パンフレット制作など新たな活動にもチャレンジ。モザイクアート制作では「新港地区の未来に向けて」をテーマとし、国際都市横浜の特色を前面に出すため、来館した外国人の方々にも学生が YCU の英語教育で培った語学力を生かして積極的に参加を呼びかけ、未来の街のエネルギーあふれる大型作品に仕上げました。

### 【概要】

#### 1 展示期間

平成 29 年 1 月 8 日（日）～ 2 月 5 日（日）

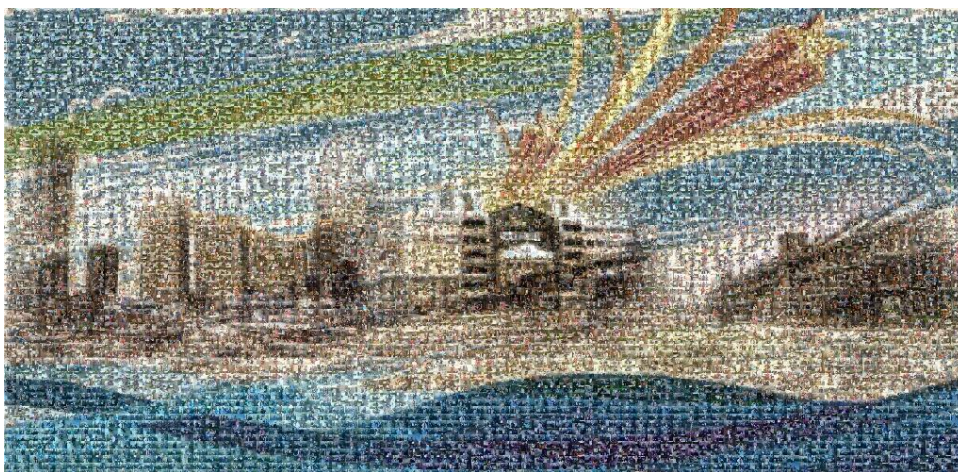
#### 2 展示会場

横浜ワールドポーターズ（横浜市中区新港 2-2-1）2 階 自動車側正面入り口横

#### 3 作品について

テーマ：新港地区の未来に向けて

平成 28 年 10 月 15 日（土）、16 日（日）、11 月 12 日（土）、26 日（土）、12 月 4 日（日）の 5 日間、横浜ワールドポーターズ 1 階にて撮影した来訪客の写真を 1,296 枚 使用



1,296 枚の写真を使用したモザイクアート（幅 3.2m、高さ 1.8m）

### 【取材をご希望の方は下記お問合せ先までご連絡ください】

YCU  
横浜市立大学

お問合せ先		
公立大学法人横浜市立大学	研究基盤課長 竹内	Tel 045-787-2019
株式会社横浜インポートマート	営業部 吉野・鈴木	Tel 045-222-2099

（裏面あり）

## <参考>

### 平成 25 年度の取組

横浜市の外郭団体（施設）である横浜ワールドポーターズの来館者増加を目的とし、平成 25 年 12 月に YCU の学生と連携プロジェクトを立ち上げ、学生視点でのアイデアを提案した。

- ・平成 26 年 2 月 21 日（金）に中條ゼミの 2～4 年生の計 30 名が 5 グループに分かれ、企業側へ提言するプレゼンテーションを実施

### 平成 26 年度の取組

平成 25 年度の提案が、教員地域貢献活動支援事業（協働型）※「横浜ワールドポーターズ・新港地区活性化に向けた学生視点の導入」につながり、YCU と横浜インポートマートの協働型事業がスタート。

- ・学生が作成したキャラクター「世界のワーポくん」を活用した Twitter による広報を実施（フォロワー数 80）
- ・バリアフリーの催事における演奏会を実施（YCU のアカペラ部およびピアノ会とのコラボ）
- ・世界のボードゲーム体験イベントを実施
- ・来館者とのコラボによるモザイクアートを制作・展示（計 1,003 枚の写真使用）



平成 26 年 12 月に展示したモザイクアート

### 平成 27 年度の取組

- ・プランニング専門業者のハッスル株式会社（現：ルーデンス株式会社）と協働し、新港地区を巡るスタンプラリーイベント及びクリスマスのキャンドルナイトイベントに参加
- ・独自に企画したイベントとしてクリスマス活動（リース・クリスマスカード手づくり体験）を実施
- ・来館者とのコラボによるモザイクアートを制作・展示（計 1,158 枚の写真使用）
- ・学生による Twitter での情報発信を強化し、フォロワー数 384 人達成

### 平成 28 年度の取組

- ・来館者とのコラボだけでなく、自分たちで企画したクリスマスワークショップや、キャンドルナイトでモザイクアートに使用する写真を撮影。来館した外国人にも積極的に呼びかけ、過去最多となる 1,296 枚の顔写真を使ったモザイクアートを制作・展示
- ・12 月に開催された「平成 28 年度第 1 回環境未来都市ワークショップ」でゼミ生が活動内容を発表
- ・Twitter に加え、Facebook でも「世界のワーポくん」を活用し情報発信を強化
- ・新港地区紹介パンフレット「1 日を新港地区で過ごしたら」を制作中

※ 教員地域貢献活動支援事業（協働型）：自治体・企業・NPO 等の団体から地域課題を提案してもらい、YCU 教員が課題提案者と協働で調査、研究、社会実験などの活動を通じて、その課題解決を目指す事業。平成 23 年度から実施しており、平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に YCU が採択されたことで、事業拡大を図っている。



モザイクアートに使用する写真撮影風景



新港地区紹介パンフレットのイメージ



## 学生運営「クリスマスワークショップ」を開催！ 横浜ワールドポーターズでクリスマス気分を盛り立てます

横浜市立大学では、12月2日（日）に新港地区の活性化を目的に横浜ワールドポーターズで「クリスマスワークショップ」を開催します。このイベントは、本学の中條祐介教授<sup>※1</sup>（国際総合科学部経営科学系）が教員地域貢献活動支援事業（協働型）<sup>※2</sup>として株式会社横浜インポートマートと協働で取り組む活動「新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発<sup>※3</sup>」の一環として開催するものです。

イベントでは、横浜ワールドポーターズに来場されるお客様、特に親子連れをメインターゲットとして、ワークショップを学生主体で実施します。

ワークショップのメニューは、クリスマスにちなみ、「スノーマンの色付け」「写真たてのアレンジ」「クリスマスリースづくり」「松ぼっくりツリーづくり」の4つ。いずれも5歳以上の子どもが手を動かして、楽しむことができる内容です。この企画によりクリスマスを楽しむ雰囲気を作り出し、横浜ワールドポーターズに賑わいをもたらします。

### 【横浜市立大学主催 クリスマスワークショップ 概要】

日時：2018年12月2日（日）11:00～16:00

場所：横浜ワールドポーターズ2階 自動車側入り口横特設会場  
 （横浜市中区新港二丁目2番1号）

内容：親子連れ向け体験ワークショップ ※すべて駐車サービス対象外

スノーマンの色付け



スノーマンの貯金箱型  
 陶器に色塗ります  
 参加費 300円

写真たてのアレンジ



サンタさんの写真たて  
 の額縁を色塗り&装飾  
 します  
 参加費 300円

クリスマスリースづくり



花やリボンでリースを  
 装飾し、オリジナルリ  
 ースをつくります  
 参加費 200円

松ぼっくりツリーづくり



松ぼっくりにビーズや  
 綿をのせてクリスマス  
 ツリーをつくります  
 参加費 100円

※当日、学生への取材が可能です。ご希望される方は事前に下記連絡先までお願いいたします。

## 参考

### ※1 中條 祐介（なかじょう ゆうすけ） 教授 プロフィール

横浜市立大学 国際総合科学群 人文社会科学系列 教授。国際総合科学部長 兼 国際総合科学科長。国際総合科学部 経営科学系 会計学コース。

会計政策、ディスクロージャー、企業分析を中心に研究し、四半期報告、リスク情報、日本版MD&A、セグメント会計基準などの制度設計への関与や、公認会計士試験、証券アナリスト検定試験の試験委員を歴任。受賞歴に、日本会計研究学会・学会賞（平成24年8月）、金融経済教育への貢献に対しNOMURA Award（平成23年3月）受賞。

### ※2 教員地域貢献活動支援事業（協働型）

自治体・企業・NPO等の団体から地域課題を提案してもらい、教員が課題提案者と協働で調査、研究、社会実験などの活動を通じて、その課題解決を目指す事業。

### ※3 新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発

新港地区の中核施設である横浜ワールドポーターズ（YWP）のさらなる情報発信力と求心力を高めることを目的に、学生視点による新港地区の潜在的な魅力の掘り起こしや、来街者へ向けた魅力的な“コト”の発信と“もの”づくりを行う。

事業2年目となる平成30年度は、新港地区の歴史的な経緯や顧客ニーズ等をはじめとする多面的な調査を実施し、新港地区の集客力・求心力を高める“コト”企画の実施と、新港地区の魅力を高める“もの”の開発に向けた検討を行う。



平成 31 年 3 月 14 日  
企 画 財 務 課

YCU  
横浜市立大学

横浜市立大学×横浜ワールドポーターズ協働プロジェクト  
学生考案の「横浜」を遊んで学ぶ商品を試行販売



横浜市立大学は、横浜ワールドポーターズ（株式会社横浜インポートマート）と共同で学生が企画・デザインした「横浜歴史トランプ」と「マスキングテープ」を期間・個数を限定して試行販売します。

この活動は、新港地区の魅力を高めエリアを活性化することを目的に、本学の教員地域貢献活動支援事業（協働型）<sup>\*1</sup>として中條祐介教授<sup>\*2</sup>（国際総合科学部経営科学系）とそのゼミ学生が3か年計画で、株式会社横浜インポートマートと協働で取り組む「新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発<sup>\*3</sup>」プロジェクトの一環です。

今回、試行販売する「横浜歴史トランプ」「マスキングテープ」の2アイテムは、プロジェクトのコンセプトである新港地区の今と昔を繋ぐ「歴史承継」をモチーフにしています。学生が中心となってデザイン、資料収集、撮影、写真の使用許可申請など制作活動を行い、多くの人に新港地区の歴史を知ってもらうため、商品化・試行販売に至りました。今まで知らなかった横浜を知り、より横浜を誇らしく思えるきっかけにしたいという想いを商品という形にしました。ファミリー層、特に小学生に手に取ってもらい横浜の歴史を遊びながら学んでもらえるものにするため、「横浜」を象徴する風景を中心にデザインされています。

【概要】

- 1 販売期間 平成 31 年 3 月 13 日（水）～ 3 月 31 日（日）
- 2 販売場所 横浜ワールドポーターズ（横浜市中区新港 2-2-1）1 階  
「GOODIES YOKOHAMA（グディーズヨコハマ）」（営業時間 10:30-21:00）
- 3 商品について

横浜歴史トランプ



- ・販売価格  
1 個  
8 2 6 円（税別）
- ・販売個数  
120 個

横浜を代表する作家「大佛次郎」、実業家「早矢仕有的」、貨客船「氷川丸」など偉人、建造物、風景を一枚一枚にデザイン。横浜にまつわる歴史を学べるトランプ。

マスキングテープ



- ・販売価格  
3 個 1 セット  
6 8 0 円（税別）
- ・販売セット数  
100 セット

「横浜の軌跡」「赤レンガ模様」「“横浜” イラスト文字」の3デザイン。

[Instagram](#) (sekainowapokun) で横浜ワールドポーターズ、みなとみらい周辺の魅力を発信中！

【取材をご希望の方は下記お問い合わせ先までご連絡ください】

お問い合わせ先

企画財務課担当課長 倉本 裕義 Tel 045-787-2405

## 参考

### ※1 教員地域貢献活動支援事業（協働型）

横浜市立大学の教員の専門性や大学が持つ「知」のリソースを活かしながら、自治体・企業等から提案される地域課題を、調査・研究・社会実験等の活動を通じて協働で解決する事業。

### ※2 中條 祐介（なかじょう ゆうすけ） 教授 プロフィール

横浜市立大学国際総合科学部長。公認会計士試験、証券アナリスト検定試験の試験委員を歴任。受賞歴に、NOMURA Award（平成23年3月）受賞、日本会計研究学会・学会賞（平成24年8月）。現在、日本会計研究学会理事、日本インベスター・リレーションズ学会副会長、日本ディスクロージャー研究学会副会長など。

### ※3 新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発

新港地区の中核施設である横浜ワールドポーターズ（YWP）のさらなる情報発信力と求心力を高めることを目的に、学生視点による新港地区の潜在的な魅力の掘り起こしや、来街者へ向けた魅力的な“コト”の発信と“もの”づくりを行う。

3か年計画の2年目となる平成30年度は、新港地区の歴史的な経緯や顧客ニーズ等をはじめとする多面的な調査を実施し、新港地区の集客力・求心力を高める“コト”企画の実施と、新港地区の魅力を高める“もの”の開発に向けた検討を行う。

### 中條ゼミナール

平成30年度は39名のゼミ生が在籍（内訳：4年生12名、3年生14名、2年生13名）。

プロジェクトには、統括リーダー、イベントチーム、商品開発チームに分かれて取り組んでいる。

### 活動の経緯および今後の予定

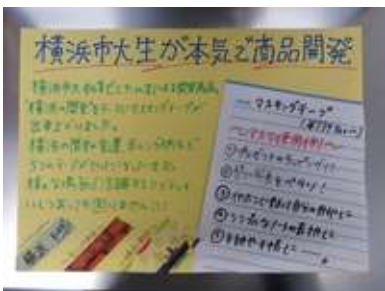
平成29年度 商品開発のための市場調査

- ・クリスマスワークショップの実施

平成30年度 提携先リストアップ、商品案を具体化

- ・クリスマスワークショップの実施
- ・モザイクアート展示
- ・開発商品の試行販売

平成31年度 開発商品の販売、スタンプラリーの開催、クリスマスワークショップの開催（予定）



学生が作成したポップ



トランプのパッキングをする学生



クリスマスワークショップの様子



今年度展示したモザイクアート



モザイクアートの写真撮影をしたゼミ生